



ゴールデンウィークが終了し、学校生活が再スタートしました。長い休日を終えて、4月に学習したことや身につけた生活習慣が薄れてしまうかな、と心配しましたが、そのようなことはなく、充実した学校生活が継続されています。連休明けの5月8日、欠席者は少なく、元気な児童の笑顔がたくさん見ることができました。連休中も、各家庭でお子様の健康管理を心掛けていただいた結果だと感じました。保護者の皆様に感謝申し上げます。

連休が明けてすぐの5月10日からの3日間、6年生は修学旅行に行ってきました。5年生の3学期から時間を掛けて準備を進め、連れて行ってもらった修学旅行ではなく、自分たちで作る修学旅行を実現することができました。「自分たちで作る」が行動として表れていたのが、「各自の時間の管理」でした。楽しくて時間を忘れがちな修学旅行ですが、6年生の児童は先生にせかされるのではなく、自分たちで時計を見て、自分たちで考えて判断して、時間を守ることができました。常に決められた時刻よりも早く、全てのグループが集合していました。修学旅行への取組を通して養われた主体性を、今後の学校生活で発揮してくれることを楽しみにしています。



今回の学校だよりは、各学年の5月の活動を紹介します。なお、詳細につきましては、相川小学校ホームページの相川小ブログ2023で配信しています。「甲府市立相川小学校」で検索してご覧ください。また、本配信の3ページ目にリンクがあります。

六年生

修学旅行から帰ってくるとすぐに児童総会を開催しました。3年生から6年生までの児童が4年ぶりに体育館に集まったの児童総会でした。対面で活発な話し合いが行われました。5月19日には、プール清掃に取り組みました。きれいになったプールで5月23日以降、体育の授業を行うことができます。6年生に感謝です。



五年生

高学年としての意識の高まりを感じます。6年生が修学旅行に行っている間は、6年生が受け持つ場所を掃除したり、登校班の班長として活躍したりしました。6年生が修学旅行から帰ってくると、5年生からの感謝のメッセージがボードに書かれておいてありました。現在は、6月の林間学校に向けて準備を進めています。

四年生 授業中の話を聴く態度や、行動の切り替えの早さに成長を感じます。中学年のリーダーと呼ぶにふさわしい行動を見せています。春の校外学習では、猛暑の中、県立科学館までの往復を弱音を吐くことなく踏破することができました。しかも、行く先々で気持ちのよい態度を示すことができたと聞いています。



三年生 3年生になり、外国語活動が始まりました。理科や社会の学習、書写での毛筆の学習も始まりました。初めてづくしの3年生です。春の校外学習で、NHK甲府放送局や中央消防署の見学に行きました。先生からの指示をよく聞き、自分たちで考え、相川小学校の児童として自慢したくなるような行動を見せていたそうです。

二年生 休み時間に1年生に優しく声をかけてあげる2年生をたくさん見かけます。1つ大人になった2年生です。生活科で春を探しに行ったり、校外学習で県立図書館・舞鶴城公園に行ったり等、校外での学習をたくさん経験しました。楽しい時間を過ごしたあとに、すぐに切り替えて集合することができたそうです。成長を感じます。



一年生 休み時間に元気よく遊んでいる1年生は、チャイムや先生の合図で走って教室に戻ることができています。連休後も、小学生らしい生活が継続できています。校外学習で緑が丘スポーツ公園に行きました。長い道のを頑張って歩き、顔を真っ赤にして学校に戻りました。教室で休憩を取って元気を回復させて下校しました。



5月。急な猛暑にみまわれ、相応の熱中症対策が必要になりました。保護者の皆様には、十分な準備の期間もなく水とうや帽子の準備をお願いし、大変ご迷惑をおかけしました。ちょうど春季校外学習の時期に重なり、校外学習の持ち物についてもいろいろとご協力をいただきました。

校長は、団長として修学旅行に参加させていただ

きました。子供たちの行儀のよい行動、時間を意識した行動を見ていると、学校での指導だけではなく、各家庭での日頃のご指導が行き届いていることを実感しました。度々お伝えしていることですが、学校の力だけでは子供たちは成長できません。保護者の皆様のご協力とご理解とご指導があつての子供たちの成長だと痛感しております。改めて感謝を申し上げます。

文責：校長 桐山 賢一